

パビリオン企画 Timeline

OTOINEPPU pavilion2021



2021.5
パビリオン企画立案

コロナ禍で音威子府の皆さんとお会いすることが難しい状況の中、地域の皆さんともっと話したいという思いから、パビリオンという「きっかけの場」を作る提案をしました。



2021.7~
パビリオン試作スタート

「誰でも参加できる作り方にすること」
「音威子府らしさが表現できること」
「みんなが集える場所であること」
「安全であること」それらが実現できるような形を考えて、3か月間、計7回の試作会を行い、様々な材料や形を試してきました。学生の専門分野である、建築・都市工学を活かし、独自の形を考案しました。



試作会実施回数
7回
制作時間
60時間 and more...



SNSでの情報発信

イベント開催にあたってはInstagramによる試作会の報告やイベント告知や音威子府村公式 Youtube チャンネルからのイベント生配信を通して、音威子府村以外の方々にも積極的に情報発信を行ってきました！



Instagram 投稿数
26回
ストーリー作成数
30回
YouTube 配信
実施イベント全て



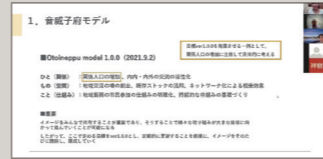
2020.11
音威子府初訪問

自然の雄大さと深く根付いた木工文化など、様々な音威子府の魅力に触れ、学生一同が音威子府のファンになったきっかけの訪問です。



2021.7~
準備スタート

パビリオン企画は、最初から最後まで完全リモートでのイベント準備となりました。顔を合わせたことがない役場のプロジェクトチームの皆さんと学生が Slack でのメッセージのやり取りと Zoom での会議を通して、手探りで企画を作り上げていきました。会議のみならず、学生による「タクティカルアーバンイズム」講演会など長いスパンでこのプロジェクトを続けていくうえで話し合いも行ってきました。



メッセージやり取り回数
3000件* and more...
リモート会議実施時間
10時間 and more...



チラシ作成

現地に行けない分、チラシ等を通して学生の存在や企画の内容を知って頂くと考え、自己紹介チラシやイベント告知チラシを作成しました！目を通して頂いた皆さん、ありがとうございます！



イベント後の取り組み

イベントでできた繋がりの「きっかけ」をこれからも続けて行くための企画実施を行ってきました。再び、リモートを活用しながらの開催となりました！
11/9 アフターイベント実施
11/21 学生とお話しよう会



企画実施報告

2021年11月3日 メインイベント実施
2021年10月~11月 その他イベント多数開催

主催：都市圏学生交流推進実行委員会
音威子府村役場プロジェクトチーム
AULO(東京大学工学部建築学科、都市工学科有志)※報告書作成

参加：音威子府村民の皆様
北海道おといねっぴ美術工芸高校生徒有志
音威子府村役場職員有志

これからも、音威子府村での「交流」づくりは、続いています！
村民の皆さんがより主体的に、地域を考え、楽しめるよう、私たち学生も頑張ります！

Project goes on....